

「VICTORY!」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグクラブのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい。そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ



心身ともに充実したサッカーを目指して。

今季のキャッチフレーズは“淡麗猛者（たんれいもさ）”。クールなメンタリティと熱いプレースタイルの山口選手にピッタリの言葉だ。チームの快進撃とはうらはらに、メンバーに入れない日々をどのような思いで過ごしたのか。チームメイトの信頼も厚い選手会長、山口貴弘選手に聞いた。



今季はどのような思いでプレーしてきたのでしょうか。

開幕からこんなに連勝できたことは今までなかったの、自分のチームのことながら「どこまでいくんだろう」という少し不思議な気持ちでした。チームの勝利はうれしかったけれど、個人的には試合の出場機会がなかったので、葛藤もありました。出られないことは本当に悔しいけれど、それを表に出し過ぎるのもよくない。その間は、チームがやろうとしていることを自分の立場でしっかりやっていこうという気持ちでした。練習はずっとハードにやっていたので『いつ呼ばれても行ける』状態に準備はしていました。

サブやバックアップメンバーは「いい準備をしている」とよく言われますが、100%の準備をしてモチベーションを高めていても、そこでメンバーに選ばれないとガックリくるんですよ（笑）そこからまた気持ちを立て直して次のために準備する。その繰り返しですからね。精神的にも肉体的にもタフでないといけません。

チームはずいぶん若返りました。

そうですね。今季の“湘南スタイル”は若い選手のスピードを生かしたサッカー。僕は28歳ですが、チームの中ではもう上のほうです。いままで経験してきたこと、教わってきたことを年下のメンバーに伝えていかなければいけない立場になったと思っています。

同時に自分にとって今年は転機だといえます。やっているサッカーが今までとは全然違うので「挑戦する気持ち」と「とまどう気持ち」が両方ありました。最終ラインのディフェンスだから、自分が相手に抜かれたらあとはゴールキーパーと1対1、そんなにリスクを気にして、どうしても一度足を止めてから狙うプレーになってしまう。過去の失敗体験から考えすぎてしまうんですね。でも今年のサッカーはそうじゃない。ミスを恐れずもっと積極的にボールを奪いに行かなければいけな

い。そのチャレンジする部分がまだ自分に足りていないと思っています。過去の経験は大切だけど、何より重要なのは、今。自分自身も湘南らしいサッカーを貫いて、チームの勝利に貢献できるよう、日々のトレーニングを積み重ねていきます。

episode

逃げた高校時代、捨てた大学時代

山口選手の母校、帝京高校サッカー部は名門であると同時に厳しい練習でも有名。つらく苦しく憂鬱な毎日だった。ある日、何か理不尽な理由で走らされていた彼は、逃げだしてそのまま家に帰ってしまった。「いいんだ、もうサッカーはやめるんだ」。そう決意していた。決意していたはずなのに、結局チームメイトに説得されて戻った。「練習からは逃げて、仲間からは離れられなくて。監督に謝り倒して戻りました」。

そんな帝京でも、高卒でプロに行く選手は少ない。山口選手の2つ上の代もプロ入りしたのは、田中達也選手（浦和）だけ。「あそこまでうまくないとプロには行けないのか、じゃ無理だなオレ」ということで、早稲田大学に進学。早稲田時代もサッカーをやりながら、チャンスがあったらプロに、ダメなら就職しようと考えていた。「サッカー推薦で入ってきたヤツがいて、『俺はプロしか考えていないから』って言いけるんですよ。そういうヤツが強いんだ、と目が覚めた思いでした。そこで自分も迷いを捨てて、プロを目指す決心しました。就職活動も一切しませんでした」。いろいろなチームに練習参加させてもらったなかで、ベルマーレだけが声をかけてくれた。逃げ道を切り捨てた先につながった、未来に続く一本道だった。

DF 山口 貴弘

山口 貴弘（やまぐち たかひろ） Profile

1984年5月8日生まれ（28歳） 東京都中野区出身
帝京高校→早稲田大学→湘南ベルマーレ
ゴール前での身体を張った気迫あふれるプレーや仲間への声かけは、チームに活力を与える。
入団6年目、昨年より選手会長を務める。
180cm / 74kg

サポーター's VOICE “これから期待する選手”

伊勢原のサポーターズクラブ“Bionya”の上村さん



ベルマーレを応援して17年くらいになります。今年のチームは、予想外に若返りましたね。開幕後の連勝も若さならではの勢いがありました。少し勝利から遠ざかったりしたけれど、相手も研究してきますからね。そこから、さらに上に行く力をつけなければいけません。今後、期待するのは若手全員です。ケガで戦列を離れていた岩上祐三くんにもまた活躍してほしい。でもチームを引っ張っていくのは坂本紘司でしょう。前半は試合にでられないこともあったけれど、日々の練習からみんなをまとめてくれるのは、やっぱり紘司だと思いますよ。

ヒデ（中田英寿さん）がいるところから応援していますよ。今季は開幕から連勝していたことが、プレッシャーになってしまったのでしょうか。みんな若いんだから、きっかけを掴めばまた勢いに乗ると思いますよ。ジュニアユースやユースから育ってきた選手たちに活躍してほしいですね。期待するのは、馬場賢治選手。だって『平塚の男』ですから。（高田さん：右）高校生のときからトップチームでプレーしている菊池大介選手。湘南のNo.10を背負って大きく成長してほしいです。（尾下さん：左）



平塚在住のサポーター仲間 尾下さんと高田さん

「市民・町民割」チケットを使ってお得に観戦しよう！

「市民・町民デー」の試合では、該当の市・町に在住・在学・在勤の皆さんは特別価格でご優待となります。まだ観戦したことのないご家族、ご友人を誘って一緒に応援するチャンスです。また、それぞれの街の特色を生かした名産品の販売やイベントなども開催するので楽しさも倍増です。

◆市民・町民デーチケット特別価格

自由席（大人）：1,500円（通常一般当日価格：3,000円）
自由席（小中高・シニア）：500円（通常一般当日価格：1,000円）

【茅ヶ崎市民デー】 7月1日（日）【伊勢原市民デー】 7月22日（日）
【藤沢市民デー】 7月29日（日）【秦野市民デー】 8月19日（日）
【平塚市民デー】 8月26日（日）【大磯・二宮町民デー】 9月30日（日）
【小田原市民デー】 10月21日（日）

●ホームゲーム試合日程 ※会場はすべて Shonan BMW スタジアム平塚

節	開催日	キックオフ	対戦相手	チケット
22	7月1日（日）	18:30	松本山雅FC	発売中
25	7月22日（日）	18:30	モンテディオ山形	発売中
26	7月29日（日）	18:30	ギラヴァンツ北九州	発売中
29	8月19日（日）	18:30	東京ヴェルディ	7/15発売予定
31	8月26日（日）	18:30	栃木SC	7/15発売予定